



普及センターだより

山城農業の担い手育成！

山城地域は都市近郊の有利な営農条件を活かし、活発な農業生産が行われてきました。近年、学卒、U・Iターン、定年帰農、新規参入など様々な経歴の新規就農者が増えています。

また、法人化をめざした規模拡大や農産加工、農商工連携など新たなビジネスをめざす方も増えています。普及センターでは、これらの様々なニーズに合った就農支援を行い、担い手の育成に取り組んでいます。



新規就農者等制度説明会



アグリビジネス研修会での個別相談



農業基礎講座で水稻栽培を学ぶ



田辺なす担い手農家養成塾での実践

お知らせ

◎担い手農家養成塾を開講しました

京田辺市 ナス養成塾(第6期) 1月23日開講

京田辺市 えびいも塾(第4期) 2月20日開講

◎開講予定の講座・研修会

平成27年度就農者基礎講座 5月～11月

平成27年度アグリビジネス研修会 5月～1月

※ 詳細は、普及センターまでお問い合わせください。

就農支援制度の紹介

新規参入や農家で親と経営を分離し、独立・自営をめざす方のリスクを軽減し、農業や農地の担い手を増やすため、国や京都府では様々な支援制度を設けています。

① 学校・研修制度

- ・ 京都府立農業大学校（2年）綾部市
 - ・ 丹後農業実践学舎（2年）京丹後市
 - ・ 担い手養成実践農場（受入地域で設定）
 - ・ 先進農家・農業法人等で研修
- いずれも青年就農給付金の利用は要相談

② 助成制度

- ・ 青年就農給付金（準備型）
最長2年間、年150万円を給付
【条件】1年以上の研修
- ・ 青年就農給付金（経営開始型）
最長5年間、年150万円を給付
【条件】就農5年未満の新規参入者等
青年等就農計画の市町村長認定
京力農場プランへの担い手登録

③ 公的融資制度

- ・ 青年等就農資金（無利子）
融資限度3700万円（12年以内返還）
【条件】青年等就農計画の市町村長認定

④ 相談窓口（予約制）

- ・ 農林水産業ジョブカフェ（京都市南区）
日、祝除く TEL075-682-1800
- ・ 普及センター就農相談会
毎月第3木曜日
（山城北普及センター・山城南普及センター）

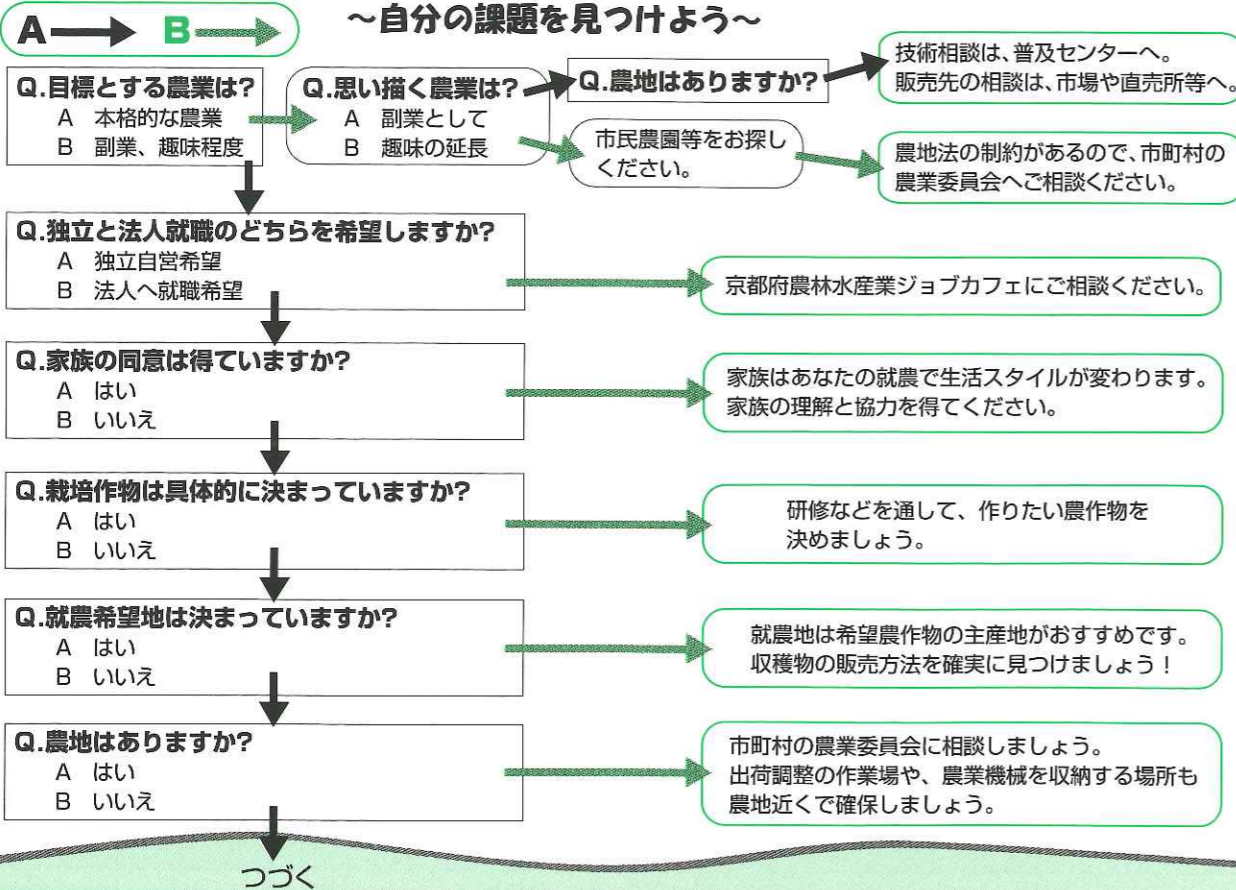
※詳細は、普及センターまでお問い合わせください。

就農までの流れ

就農するまでには、様々な課題があります。就農相談では、まず、セルフチェックシートを活用し、越えるべきハードルを見つけ出します。

就農準備「セルフチェックシート」(抜粋版)

作成：山城北及び南農業改良普及センター



～農薬を安全に正しく使いましょう～

インタビュー

やましろの頑張る担い手

創意工夫で儲かる農業を!

こばやし たくみ
小林 巧さん
(指導農業士/木津川市山城町)



小林さんは以前、学習塾を経営されていましたが、実家の農業を継ぐことを決意。現在、施設50a、露地30aで軟弱野菜を主に栽培されています。親御さんの口癖の「ものはやりよう」を子供のころから聞かされていたことが現在の農業経営に活かしているとのこと。

「農業は工程管理が多く、大変な産業ではあるが、その工程を少しずつ省力すれば全体では大きな省力になる。」と様々な工夫を凝らし、経営改善に努めてこられました。

小林さんは自らの経営のみならず、指導農業士として新規就農者の良きアドバイザーとなって地域で活躍されています。

若手農家のまとめ役

さかもと こういち
阪本 浩一さん
(青年農業士/久御山町)



阪本さんは、コマツナやホウレンソウ等の葉菜類150aと露地ナス20aを栽培されています。

平成14年にタキイ園芸学校を卒業した当時の経営は露地コマツナ栽培が主でしたが、就農を契機にハウスを1棟(3a)導入、その後面積を増やし、現在ではハウス25aにまでなりました。どの作物も環境にやさしい農業を実践されています。

また、久御山町野菜出荷組合のホウレンソウ部会長を務め、組織のまとめ役として活躍されています。「若手野菜農家の仲間作りにいっそう励みたい」と阪本さん。地域から今後の活躍が期待されています。

安心・安全な茶を届ける

なが た ひろかず
永田 紘一さん
(青年農業士/宇治市原町)



永田さんの経営の主体は、玉露を中心とした茶業で、直売所向けに一年を通して出荷される野菜と年末には町特産の古老柿を作られています。

有機質肥料中心の施肥や自宅の茶工場で細かい目配りをしながらの製茶など、品質を重視した玉露生産が行われています。「消費者により安心・安全な茶を届けたい」とGAPにも積極的に取り組まれています。

「買い手の生の声が聞けるので、やりがいを感じられるのが農業の魅力である。」をモットーに頑張っておられます。

一杯の茶の味を追い求めて

すみもと たかし
炭本 貴司さん
(木津川市加茂町)



炭本さんは、約3haの茶園で、かぶせ茶を生産されています。品種の構成は、「やぶきた」、「在来」が多い現況の中、「特色ある高品質な茶を生産したい」という経営理念から、「さみどり」などの京都府内育成品種への改植を進められています。

就農直後の失敗の連続を地域の先輩農家からのアドバイスで乗り越えられた経験から、人と人のつながりを大切にされており、平成25年3月には加茂町茶業部会青年部を発足させ、初代部長として地域の若手を結集、先頭に立って活躍されています。

平成26年度 新規認定京都府農業士

よろしく
お願いします



○指導農業士

氏名	市町村名	部門
大西 巧さん	和束町	茶

○女性農業士

氏名	市町村名	部門
佐原 友美さん	宇治市	野菜、水稲

～余裕のある作業で、事故を防ぎましょう～



広がる「京やましろ新鮮野菜」の取組!

平成23年から始めた「やましろ新鮮野菜応援プロジェクト」では、山城産野菜の商品力と知名度を上げる取組を進めています。

昨年11月26日には、京田辺市で消費者と生産者の交流会を開催し、えびいもの掘採り作業を体験していただき、大好評でした。

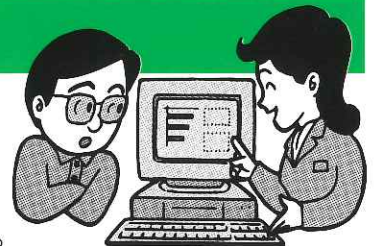
また、「京やましろ新鮮野菜ファンクラブ」も発足される予定となっています。今後も、皆さんの協力のもと、京やましろ新鮮野菜の取組を進めていきます。

農薬の登録情報変更にご注意!!

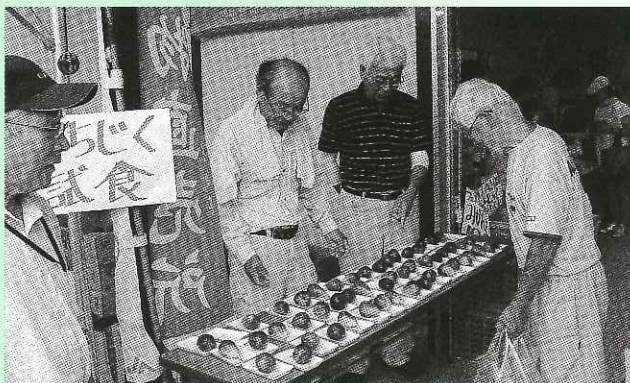
残留農薬に対する評価について、「急性参照用量」という新たな項目が設定されました。これによって登録内容が変更される農薬があります。

ホームページや関係機関から、常に最新の登録情報を入手して、それに基づいて使用するようにならしてください。詳しくは、京都府HPを参照ください。

<http://www.pref.kyoto.jp/shokuanzenbosai/news/documents/tankibakurohyoka.html>



直売所紹介



ごりごりいち 五里五里市

城陽市のマスコット
「しゅんさいいちちゃん」



五里五里市は府道富野荘八幡線のJA京都やましろ城陽南支店に開設され、現在は140名の会員で運営されています。

店頭には地元産の新鮮な野菜や果物が並び、特に夏はみずみずしくジューシーな「いちじく」、秋は甘く、ほくほくの「さつまいも」が大人気の商品となっています。

また、JA京都やましろ女性部加工部会が、地元の農産物を使ったお寿司、炊き込みご飯などを日替わりで販売しています。年間を通して多彩なイベントが開催され、開業5周年の今年は、いっそうイベントに力を入れお客様との交流を深める予定です。

しゅんさいいち 旬菜市

旬菜市は文化パーク城陽の南側に隣接した直売所で、地元城陽産にこだわった「安心!安全!新鮮!」を売りにした旬の農産物や加工品が所狭しと並べられています。地産地消に力を入れており、城陽市内の給食センターや、宇治の支援学校等に定期的に農産物を納品しています。また、イベントにも力を入れ、夏の「いちじく」、さわやかな「梅ジュース」は大人気となっています。

生産者同士の交流も活発でアットホームな雰囲気を感じられる直売所です。旬菜市には生産者が常駐しており、農産物の料理の仕方、作り手のこだわりなどを生産者と消費者が互いの顔を見ながら生の声が聞けるのも大きな魅力です。

